

# 近江の森林・滋賀の国有林



近江富士（三上山国有林・野洲市）

森林は、国土を保全し、水源をかん養し、レクリエーションの場となり、また地球温暖化の防止に貢献するなど私たちにとってかけがえのない存在です。

滋賀森林管理署は、滋賀県内に所在する国有林野及び官行造林地の管理経営を行い、人々の生活や暮らしに役立てています。

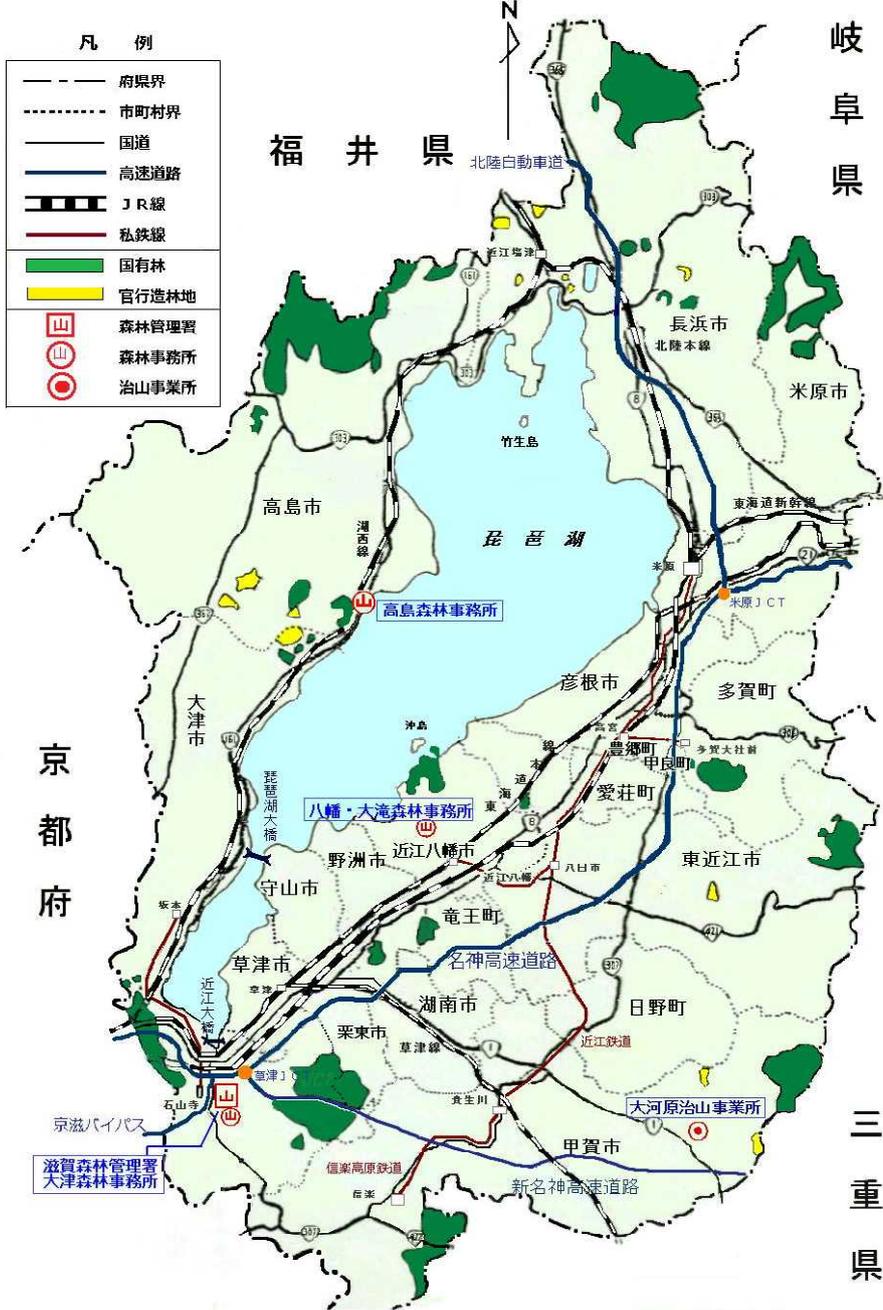


滋賀森林管理署

# 管理経営の基本は公益的機能の増進です

滋賀森林管理署では、滋賀県内の12市町に所在する国有林約1万8千haを対象に、公益的機能の一層の発揮に向けた森林の整備、災害の復旧や未然防止のための各種治山事業の実施、野生生物保護のための保護林の設定と保護・管理、快適な森林レクリエーションを楽しんでいただくためのレクリエーションの森の整備等を行っています。

滋賀森林管理署管内図



# 機能類型に応じた管理経営

公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行うため、国有林野を次の機能類型に区分し、各機能の発揮を目的とした管理経営を行います。

## 山地災害防止タイプ 8,378ha（49%）

災害に強い国土基盤の形成、安全で快適な国民生活を確保することを重視する観点から、山地災害防止機能及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき国有林野です。

保全対象と当該森林の位置関係、地質や地形等の地況、森林現況等を踏まえ、適切な間伐等を推進し、健全な林分の育成に努めます。



清水谷国有林（東近江市）

## 自然維持タイプ 2,990ha（17%）

生態系としての森林の重要性を踏まえた生物多様性の保全を図る観点から、生物多様性の保全機能の発揮を第一とすべき国有林野です。

原則として自然の推移に委ねることとし、野生動植物の生息・生育環境の保全等に配慮した管理経営を行います。



上谷山国有林（長浜市）

## 森林空間利用タイプ 2,445ha（14%）

国民に憩いと学びの場を提供したり、豊かな自然景観や歴史的風致を構成したりする観点から、保健・文化・レクリエーション機能の発揮を第一とすべき国有林野です。

育成複層林へ導くための施業により針広混交林への誘導を図るなど、景観の向上や野外レクリエーションに考慮します。



一丈野国有林（大津市）

## 水源涵養タイプ 3,344ha（19%）

良質な水の安定供給を確保する観点から、水源涵養機能を全ての国有林野において発揮が期待される基礎的な機能と位置づけており、上記のタイプに掲げるものを除く全ての国有林野です。

根系や下層植生の発達を促すための適切な間伐、人工林における複層林や針広混交林への誘導及び長伐期施業の推進を図り、健全な林分の育成に努めます。



三郷山国有林（甲賀市）

注：面積は湖北森林計画区及び湖南森林計画区の第5次地域管理経営計画書による。また、構成比は端数を四捨五入しているため、合計が100%にならない。

# 暮らしを守る治山事業

管内の国有林は、風化花崗岩など脆弱な地質の箇所が多いことから、地域住民の安全・安心の確保に向け、荒廃山地の復旧や山地災害の発生防止のための取組（治山事業）を行っています。

## ●保安林の指定

国有林のうち、91%を水源かん養や土砂流出防備等の保安林に指定し、法的規制のもとに開発を極力防止し、森林の整備などを行い、その健全化に努めています。

## ●治山事業の実施

治山施設（治山ダム等）の設置等により、荒廃山地の復旧対策等を進めています。



川原谷国有林(高島市)谷止工と山腹工



関寺国有林(大津市)流木等も捕捉できる谷止工

## いちじょうや 一丈野の治山

滋賀県の大津市南部から栗東市にかけてのいちじょうや・  
金勝山国有林（1,136ha）は、かつて、万葉集の歌にも詠まれたほど古くから、度重なる遷都や社寺の建立のためにヒノキが伐り出された結果、江戸時代には「田上の禿げ」として全国に知られる禿げ山となっていました。



明治期に施工されたオランダ堰堤

その後、明治8年（1875年）、政府により招聘されたオランダ人技術者であるヨハネス・デ・レーケの指導により、16種の試験砂防対策工が施工されました。以降、今日に至るまで治山事業及び砂防事業により復旧が行われ、現在では緑がよみがえりました。

現在では、これらの地域は琵琶湖や天ヶ瀬ダムの重要な水源地帯であるとともに、近江湖南アルプス自然休養林に指定され、多くの人に親しまれています。



## 保護林

貴重な野生動植物が生息・生育する森林などに保護林を設定し、その保護・管理を行っています。

- <sup>うえたにやま</sup>上谷山生物群集保護林  
(長浜市) 574ha

日本海型ブナの南限付近で、海拔500メートルから、ブナ・ミズナラが優占的かつ広範囲に分布し、巨木が生育している植物群落を保護しています。



- 三国山湿原植物希少個体群保護林  
(高島市) 31ha

この地区が生息の西限となる湿原希少な植物群落を保護しています。ミズゴケ、キンコウカ、イワシヨウブ、モウセンゴケ、ミミカキグサなどがみられます。



- <sup>おうさかやま</sup>逢坂山照葉樹希少個体群保護林  
(大津市) 30ha

高齢級のシイ、カシ等の照葉樹を主体とした針広混交林を保護しています。



## 緑の回廊

- <sup>えつみさんち</sup>越美山地緑の回廊  
(長浜市) 2,011ha

上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林と隣接する福井・岐阜県の保護林等を連結して、野生動植物の生育・生息地の拡大と相互交流を促し、効果的に森林生態系の保護・保全を図るため、全長66kmにわたる緑の回廊を設定しています。



## レクリエーションの森

人と森林とのふれあいの場を提供するため、四季折々の自然の美しさを楽しむことの出来る自然休養林や野外スポーツ地域等のレクリエーションの森を設定し、森林とのふれあいの環境を整備しています。

### ●近江湖南アルプス自然休養林

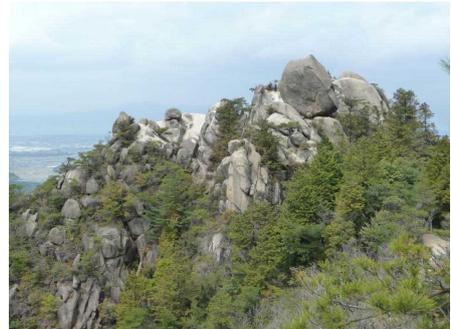
(大津市、栗東市) 1, 136ha

近江湖南アルプスと呼ばれる田上山地の象徴的な山地で、山頂部一帯には花崗岩の風化・浸食によって出来た巨岩・奇岩が織りなす奇景が楽しめます。近畿一円を中心に年間数万人にも上る利用者があり、自然探勝のほか、キャンプ、水遊びなど、変化に富んだ森林レクリエーションに利用されています。

また、本自然休養林は、平成29年4月、「日本美しい森 お薦め国有林」に選定されており、多言語による情報発信（看板、標識等）、修景伐採等を推進することとしています。

#### 【日本美しい森 お薦め国有林】

林野庁では、優れた自然景観を有するなど、観光資源としての潜在的魅力が認識されるレクリエーションの森を「日本美しい森 お薦め国有林」とし、有識者の意見を踏まえ、全国で93箇所が選定されました。



天狗岩



こまさかまがいぶつ  
狛坂磨崖仏

### ●奥伊吹野外スポーツ地域

(米原市) 316ha

姉川の源流、標高700～1200mの岐阜県境にあります。春の新緑、夏の涼風、秋は紅葉、冬の積雪と四季の変化に富み、スキー、キャンプ等が楽しめます。



奥伊吹スキー場（米原市）

### ●近江富士風景林

(野洲市) 99ha

三上山はその美しい山容から「近江富士」と呼ばれ、古くから地域の方々の信仰の対象となってきました。

周辺には、御上神社、滋賀県希望が丘文化公園、滋賀県立近江富士花緑公園など見どころも多く、四季を通して多くのレジャー客が訪れます。（表紙参照）



近江富士花緑公園にある三上山登山口（写真左側）

# 伊崎国有林カワウと人の共生の森プロジェクト

## ●対策方針の策定

琵琶湖に面した伊崎国有林（約57ha）は、滋賀県近江八幡市の琵琶湖東部に位置する伊崎半島にあり、森林にはヒノキ、コナラ、シイ等が生育しています。また、この一帯は琵琶湖国定公園等にも指定されており、風光明媚な森林景観を期待されている地域です。

昭和63年(1988年)頃にカワウの営巣が確認されて以降、生息数が増加し、平成16年(2004年)には、滋賀県で4万羽、伊崎国有林には竹生島に次ぐ1万羽が生息し、大幅に増加したカワウの営巣に伴う枝折り、糞の葉への付着等により、ヒノキの枯死等の森林被害が深刻化しました。

このため、伊崎国有林の森林被害対策に取り組むこととし、学識経験者と箕面森林環境保全ふれあいセンター(当時)、関係機関、当署職員によるワーキンググループを設け検討を重ね、平成19年(2007年)4月に「伊崎国有林の森林管理におけるカワウ対策方針」を策定しました。



カワウの営巣



「カワウが生活できる森」を望む

## ●プロジェクトの実施

この対策方針に基づき「カワウの被害から守る森」、「カワウ被害植生回復の森」、「カワウが生活できる森」の3区分にゾーニングし、ワーキンググループに意見を聴きつつ、カワウの営巣状況や森林への影響等のモニタリング調査を行いながら、各区分ごとに森林管理・植生回復対策、カワウ抑制対策を行う「伊崎国有林カワウと人の共生の森プロジェクト」を実施しています。

また、カワウ抑制対策の中で、滋賀県カワウ第二種特定鳥獣管理計画に基づき進められている個体数調整などの対策に協力しています。



モニタリング調査の実施



## 森林整備と林産物の供給

管内の国有林は、関西の水瓶である琵琶湖の上流に位置していることから、水源の涵養や地球温暖化防止等の公益的機能の維持・増進を図るため、管内国有林の27%を占める人工林の間伐を行うなど、その整備を計画的に行うとともに、間伐材の搬出により、原木の供給に取り組んでいます。

また、(一社)滋賀県造林公社と「滋賀森林づくり推進協定」を締結し、効率的な路網の整備、路網や土場の相互利用による搬出コストの低減等に取り組んでいます。



列状間伐後の人工林  
奥島山国有林（近江八幡市）

## 木の文化を支える森づくり

歴史的木造建造物の維持・修繕のために必要な<sup>ひわだ</sup>檜皮（注）や広葉樹の大径木などの修復資材の持続的な供給に備えて「<sup>ひわだ</sup>檜皮採取対象林」、「文化財継承林」を設定しています。



檜皮採取後のヒノキ林  
別所国有林（大津市）



文化財継承林  
上谷山国有林（長浜市）

注：神社仏閣等の伝統的木造建造物の屋根に葺くため、樹齢約80年以上のヒノキの立木から採取する樹皮のこと。

## 森林被害対策

近年、ニホンジカの個体数が増加し、森林の被害が拡大しています。このため、森林被害への対策として、大津市有害鳥獣被害対策協議会や米原市鳥獣被害防止対策協議会等と連携し、国有林内でのニホンジカの捕獲を実施しています。



わなと捕獲されたニホンジカ（大津市）

## 国民参加による森林の整備

「ふれあいの森」を設定する等により、NPOや企業等が行う自主的な森林整備等のフィールドを提供しています。

### ●伊崎ふれあいの森（近江八幡市）

滋賀グリーンクラブと「ふれあいの森」の協定を締結し、カワウの影響により枯れてしまったヒノキ林の伐採跡地への苗木の植栽や下刈等の整備を行っています。



伊崎ふれあいの森での下刈作業

国有林野・公有林野等官行造林地の市町村別面積 (単位：ha)

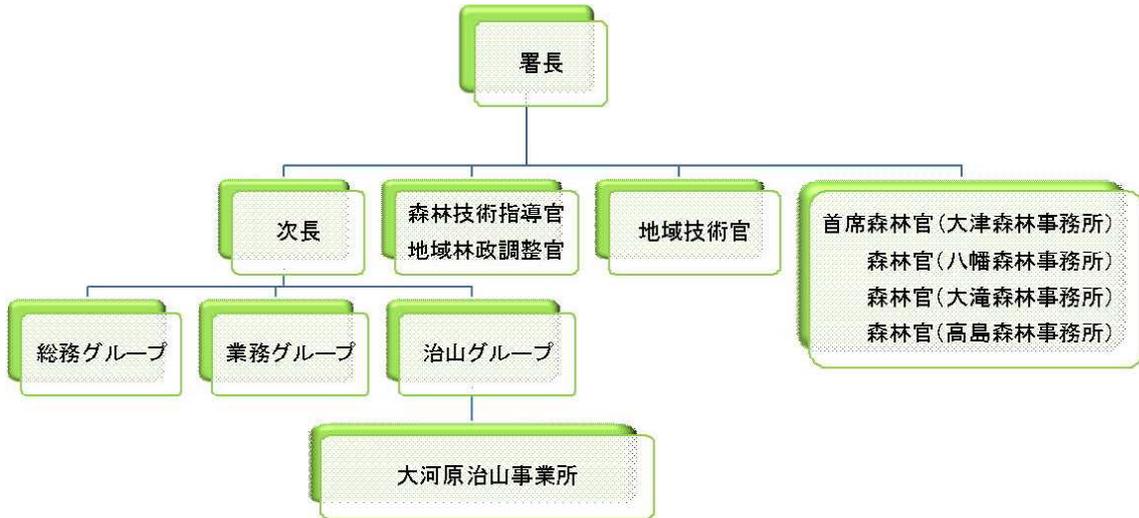
	市 町	面 積			市 町	面 積	
		国有林野	官行造林地			国有林野	官行造林地
湖 南 森 林 計 画 区	大 津 市	2,853	131	湖 北 森 林 計 画 区	甲 良 町	18	
	近江八幡市	682			多 賀 町	436	
	栗 東 市	444			米 原 市	1,950	
	野 洲 市	215			長 浜 市	3,175	127
	甲 賀 市	1,917	132		高 島 市	4,570	191
	竜 王 町	124					
	東 近 江 市	649	31				
計	6,883	294	計	10,148	318		
			合 計	17,030	612		

- 注：1 国有林野、官行造林地が存在している市町のみを掲上。  
 2 面積は、国有林の地域別の森林計画書（湖南森林計画区:平成25年度、湖北森林計画区:平成27年度）による面積（附属地及び貸地を除く）。  
 3 四捨五入のため、内訳の計が合わないことがある。

## 滋賀森林管理署の沿革

- 明治19年 京都大林区署の管轄となる。
- 明治22年 大阪大林区署の管轄となる。
- 大正13年 大阪営林局大津営林署に改称。
- 昭和22年 林政統一、国有林野事業特別会計制度が発足。田上山系にあった農林省直轄荒廃林地復旧事業の栗太事業地を引き継ぎ、翌年から治山事業を実施。
- 昭和29～53年 保安林整備臨時措置法に基づき民有保安林等を買入。
- 昭和33年 大河原治山作業所（現在の大河原治山事業所の前身）開所。
- 昭和45年 近江湖南アルプス自然休養林を設定。
- 昭和57年 敦賀営林署所管国有林の一部を統合。
- 平成4年 園城寺町から現在地に庁舎を移転。
- 平成11年 滋賀森林管理署に改組。
- 平成25年 国有林野事業が一般会計に移行。

(滋賀森林管理署組織図)



(所在地及び連絡先)

滋賀森林管理署	〒520-2134	大津市瀬田3丁目40-18	077-544-3871
大津森林事務所	〒520-2134	大津市瀬田3丁目40-18	077-544-6883
八幡森林事務所	〒523-0894	近江八幡市中村町413-1	0748-33-2321
大滝森林事務所	〒523-0894	近江八幡市中村町413-1	0740-36-1815
高島森林事務所	〒520-1121	高島市勝野3019-1	0740-36-1815
大河原治山事業所	〒528-0208	甲賀市土山町黒川1550-1	0748-68-0321

(滋賀森林管理署案内図)



(平成30年4月作成)